

講義コード	513135102	
講義名	体育III CD	
(副題)		
開講責任部署	幼児教育科（短大）	
講義開講時期	前期	
基準単位数	1	
時間	0.00	
代表曜日	月曜日	
代表時限	3時限	
科目分類名	専門科目	
科目分野名	教科に関する科目	
対象学部・年次	短期大学部・1～2年	
必須/選択	選択必修	
担当教員		
<b>職種</b>	<b>氏名</b>	<b>所属</b>
専任教員	藤村 透子	指定なし
専任教員	教務委員会（短大）	指定なし

### 授業の概要

体育IIの単位取得後に履修すること

#### 授業の概要

鬼遊びや身近な素材（新聞紙）を用いた運動遊びの特性を理解し、子どもの発達段階や安全性を考慮した運動遊びの実践方法について学ぶ。

#### 授業の方法

##### ①プレゼンテーションの方法

授業では、配布資料や板書を活用する。

##### ②授業形態

実技形式およびグループワークを行う。

##### ③アクティブラーニング

リズム体操、運動遊び、グループワークの発表を実施する。

##### ④課題に対するフィードバックの方法

提出物の内容を確認し、コメントを記入して返却する。

### 授業の到達目標及びテーマ

幼児期運動指針を理解し、運動遊びが指導できる運動技能および指導能力を身につける。

到達目標については、学習成果における②知識・技能、③実践力と実務能力が該当する。

本授業は、幼児教育科のディプロマ・ポリシー「5.音楽・図画工作・体育の技術と表現を身につけ、乳幼児に指導できる。」と「7.他者と協調・協働して行動できる。また、目標の実現のためにリーダーシップを発揮できる。」を達成するための科目である。

### 授業計画表

回	項目	内容
第1回	ガイダンス	グループ分け
第2回	幼児期運動指針について	
第3回	リズム体操（1）	グループ学習（体操を決める、踊る）

第4回	リズム体操（2）	グループ学習（踊り方を描く）
第5回	鬼遊び（1）	グループ学習
第6回	鬼遊び（2）	発表（1～2グループ）
第7回	鬼遊び（3）	発表（3～4グループ）
第8回	鬼遊び（4）	発表（5～6グループ）
第9回	鬼遊び（5）	発表（7～8グループ）
第10回	新聞紙を使った運動遊び（1）	グループ学習
第11回	新聞紙を使った運動遊び（2）	発表（1～2グループ）
第12回	新聞紙を使った運動遊び（3）	発表（3～4グループ）
第13回	新聞紙を使った運動遊び（4）	発表（5～6グループ）
第14回	新聞紙を使った運動遊び（5）	発表（7～8グループ）
第15回	授業全体のまとめ	
第16回	筆記試験	

### 授業時間外の学修

授業の最初に、リズム体操を行う。担当者は事前に打ち合わせをし、練習をして授業に臨むこと。（予習課題）

事前にシラバスを読み、各種目の遊びについて調べておくこと。（予習課題）

毎回、授業の最後に復習課題を伝える。次の授業までに復習をすませ、体操ノートをまとめておくこと。

予習課題に10分、復習課題に35分かかると想定される。

### 実務経験の有無

--

### ディプロマポリシーとの関連

① 幼児教育者観	② 知識・技能	③ 実践力と実務能力	④ 人間性と協調性
	◎	◎	

### ルーブリック

評価項目	優秀 (excellent)	平均 (average)	途上 (developing)	未達 (unachieved)
運動遊びの専門的な知識	保育者として専門的な知識を持ち、子どもの健全な育ちを支援できる	保育者として専門的な知識を持っている	保育者として専門的な知識を学習したが、不十分である	保育者としての専門的な知識がほぼ修得できていない
運動遊びの専門的な技能	保育者として専門的な技能を持ち、子どもの健全な育ちを支援できる	保育者として専門的な技能を持っている	保育者として専門的な技能を学習したが、不十分である	保育者としての専門的な技能がほぼ修得できていない
運動遊びの指導力	保育者として、状況に応じた運動遊び等の保育実践ができる	保育者として運動遊び等の保育実践ができる	運動遊び等の保育実践に課題があり、課題解決への見通しがある	運動遊び等の保育実践に課題があり、課題解決への見通しが無い

### 成績評価法（表形式）

--

	評価基準	備考
定期試験	50%	筆記試験
小テスト等		
成果発表		
授業への貢献度	30%	グループ発表、授業態度
レポート	20%	提出物（体操ノート）
その他		

### 課題へのフィードバック方法

定期試験や小テストの結果について	課題（レポート等）について	模擬授業、プレゼン、発言等について
授業の中で解説、講評する	授業の中で解説、講評する	授業の中で解説、講評する その都度解説、講評する

### ICTを活用した双方向型授業の内容

チャット メール等の活用
-----------------

### アクティブラーニングの割合

総授業時間数の60～100%程度のアクティブラーニングである
--------------------------------

### アクティブラーニングの内容

書く・話す・発表する等の活動におけるAL	経験値・技能を高める活動におけるAL	授業時間外におけるAL
プレゼンテーション	PBL(課題解決型授業)	

### 教科書

なし。必要に応じて資料を配付する。

### 参考書

『新版 遊びの指導』（財）幼少年教育研究所 編著（同文書院）  
『幼児期運動指針実践ガイド』日本発育発達学会（杏林書院）

### SDGsとの関連

4. 質の高い教育をみんなに
----------------

### 特記事項等

①科目のナンバリング  
STE2304

②オンライン授業の実施方法

Teamsによる教材提供、リアルタイム授業、小テスト、レポート等、また、ハイブリッド式授業を行う。

**③その他の特記事項**

短大指定の体育着およびシューズを着用すること。（スカート・ジーンズ・素足等での受講は安全上認めない）

授業が始まるまでに、アクセサリ類（指輪、ネックレス、ピアス等）は必ず外しておくこと。また、髪が長い学生は一つにまとめること。

**研究室（訪問先等）**

中央研究棟 2階 223 研究室

第2 体育館 2階 体育教員室

2022年度前期は、月・火・水・木が出校日です。研究室または体育教員室を訪ねてください。

**電話番号**

028-667-7111（代）

**授業用E-mail**

[fujimura@sakushin-u.ac.jp](mailto:fujimura@sakushin-u.ac.jp)